

平成29年度 第1回岡山県文化振興審議会【要旨】

日時：平成29年5月29日（月）

10時～11時40分

場所：ルネスホール ワークルーム

1 開会

環境文化部長あいさつ

2 平成29年度会長・副会長選任

会長に白井委員、副会長に赤木委員を選任

3 議題

新おかやま文化振興ビジョン（仮称）の策定について

委員

- ・数値目標で一喜一憂すべきでなく、文化政策全体で評価すべき。
- ・文化振興ビジョンとは何かということを共有することが大事。
- ・「芸術系専門学科を有する高校、大学との連携」に関し、芸術系の先生の採用が厳しいという状況がある。
- ・先生方に文化芸術に「自分が関わり、自分が担い手である」と感じてもらわなければならないが、非常に険しい道のりだ。

委員

- ・文化の評価は数値でない。
- ・文化関係への予算配分、教員の定数、学生の定員などに対する厳しい状況を把握するため、調査をしてはどうか。
- ・文化振興基本条例の「若者への手紙」は、重要なものなのでみんなで共有すべきだ。
- ・技術系の人にこそ文化芸術などの人文的素養をつけてほしいので、その仕組みづくりが必要だ。
- ・新ビジョンでは、「文化サポーターの育成」と「文化サポートネットワークの形成」が抜けている。目先の成果を重視して、環境づくりや人材育成などの時間がかかることを後回しにするということなら、それは間違っている。
- ・文化サポーター（文化の環境を整備する人）の重要性を打ち出すべきだ。
- ・国内の大学では文化芸術系の学部が縮小された結果、有能な人材があふれている。こういう人材を岡山に集めてくる仕組みづくりが必要だ。文化のプラットフォームとして強くなる。

委員

- ・ビジョンの基本的な考え方として、「県民が文化的な創造等に取り組みやすい環境づくり」、「県民が地域の歴史や文化を身近に感じ、愛着、誇りを育むような施策の推進」、「県民のアイデンティティとなるような新たな文化の創造」の3点があり、これらによって地域が元気になる。
- ・3つの基本方針にA案とB案が示されているが、上からA案、B案、A案が良いと思う。
- ・「障害のある人の文化芸術活動の推進」が加わったのは良い。
- ・県民総参加という言葉が簡単に使うが、そこが一番難しい。文化活動にこれまで関係が薄かった県民が、県民総参加的に文化活動に取り組める仕組みづくりが必要だ。

委員

- ・学校がもっと感性を鍛えるような教育をしてほしい。
- ・障害者に「書」を教えているが、一生懸命に書いているというところに光をあててもらえば、取り組む人も増えてくる。

委員

- ・「オリンピック・パラリンピックに向けた」という表現は、オリンピック・パラリンピックが2020年に終わってしまうので、10年のビジョンとしてはどうか。
- ・地域の様々な人々が、その地域でいきいきと生きてゆくためのビジョンでなければならない。
- ・現ビジョンの「高齢者、障害のある人等の文化活動の環境整備」について、たたき台では「高齢者」が消えている。高齢者抜きでは文化は伝承されないが、高齢者と障害者を区別して考える時代でもないと感じている。
- ・5年後までのビジョンであれば「障害者アート」という言葉もいいかなと思うが、10年先まで考えるともっと広く地域の人たちをターゲットにした方がわかりやすい。
- ・たたき台ではイベントをする人をつくらうとしているが、芸術文化がある暮らし、地域で愛着をもって生きていける環境づくりなどのサポーターや、地域をつくっていく人たちを育成していく必要がある。
- ・文化を活用という文言にひっかかる。
- ・IターンUターンで帰ってくる若者が地域で文化を継承しているケースもあるので、新しい人を迎え入れるような環境づくりに取り組む必要がある。
- ・優れたアーティストは東京に出てしまうが、いつでも帰ってきて活躍できる環境づくりが必要だ。
- ・美作建国1300年、芸術回廊などのイベントの実施による成果は出ているが、地域での長年の活動にもサポートが必要だ。

委員

- ・環境づくりが大事という意見には賛成。文化サポーターが抜けているのは重大な問題だ。環境づくりの大きな要素がサポーターの育成・充実だ。
- ・教育の中で地域とか文化の問題を取り上げる機会が少なくなっている中で、矢掛高校の「やかげ学」は大いに参考にすべきだ。
- ・中学、高校の先生で興味がある人に文化振興に加わってもらえるような体制をつくるべきだ。
- ・(文化振興基本条例の)「若者への手紙」は他県にないもので、今回も(考え方は)変わらないと思う。
- ・ビジョンが総花的になるのは仕方ないが、国全体の普遍の原理原則である教育は取り上げるべきだ。
- ・東京での仕掛けが必要だ。県東京事務所の東京での活動をきっちり位置づけて動きやすくしてあげることが大事。
- ・岡山ゆかりの東京で文化活動している人を活用すべきだ。それが岡山の文化の活性化につながる。
- ・三重県は、日本橋の三重テラスで定期的に文化講座を実施している。とっとりおかやま館で岡山県出身者が岡山に貢献できるような仕掛けをしてはどうか。

委員

- ・文化サポーターは抜かしてはいけない。たたき台に反映してほしい。
- ・文化の力を活用した地域の活性化というのは、どういう意味か気になる。
- ・例えば、地方固有の文化資源を掘り起こす人への支援、文化による賑わいの創出をする人や団体への支援、国内外のアーティストを受け入れてくる者への支援、こういうことが文化サポーターを大事にするということだ。